

令和8年第2回定例
夕張市議会会議録
令和8年6月12日(金曜日)
午後6時00分開議

◎議事日程

第 1 一般質問

◎出席議員 (8名)

徳 谷 康 憲 君
荒 井 周 司 君
工 藤 政 則 君
君 島 孝 夫 君
櫻 井 暁 君
千 葉 勝 君
高 間 澄 子 君
大 山 修 二 君

午後6時30分 開議

●議長 大山修二君 これより、令和8年第2回定例
夕張市議会第3日目の会議を開きます。

●議長 大山修二君 本日の出席議員は8名全員で
あります。

●議長 大山修二君 本日の会議録署名議員は、会
議規則第125条の規定により、

荒井議員

工藤議員

を指名いたします。

●議長 大山修二君 ここで、事務局長から諸般の
報告をいたします。

●事務局長 堀 靖樹君 報告いたします。

本定例市議会に出席を求めた説明員の一覧につきま
しては、さきに報告のとおりであります。

以上で報告を終わります。

「別紙」

市長 厚 谷 司 君

教育長 有 村 宏 紀 君

◎市長の委嘱を受けて出席した者の職・氏名

副市長兼財政課長事務取扱

芝 木 誠 二 君

総務企画課長 板 垣 克 巳 君

地域振興課長 瀧 口 健 太 君

税務課長 秋 山 俊 輔 君

建設課長 佐 藤 浩 一 君

土木課長 阿 部 充 雅 君

上下水道課長 矢久保 六 玄 君

市民課長 外 崎 伸 一 君

保健福祉課長 鈴 木 茂 徳 君

生活福祉課長兼福祉事務所長

平 塚 浩 一 君

消防長 松 倉 暢 宏 君

消防署長 鈴 木 剛 士 君

◎教育委員会教育長の委嘱を受けて出席した者の職・
氏名

教育課長 押野見 正 浩 君

◎選挙管理委員会委員長の委嘱を受けて出席した者の
職・氏名

事務局長 板 垣 克 巳 君

◎農業委員会会長の委嘱を受けて出席した者の職・氏
名

事務局長 清 水 文 憲 君

◎監査委員の委嘱を受けて出席した者の職・氏名

事務局長 堀 靖 樹 君

◎本議会の書記の職・氏名

事務局長 堀 靖 樹 君

書記 志 茂 隆 君

書記 増 井 菜々実 君

書記 大 井 友 彦 君

●議長 大山修二君 本日の日程は、お手元に配付
しているプリントのとおりであります。

それでは、直ちに日程に従って会議を進行いたしま

す。

●議長 大山修二君 日程第1、これより、昨日に引き続き一般質問を行います。

本日の質問者は、君島議員、櫻井議員であります。

それでは、君島議員の質問を許します。

君島議員。

●君島孝夫君(登壇) 君島孝夫です。通告に従い、1件3点について一般質問を行います。

まず初めに、市内経済の活性化について。

市内経済状況は、後継者、担い手不足による事業者の閉業や物価高騰の影響による消費落ち込みが続いている状況である。その中で、物価高騰に対する生活への下支えとして実施したプレミアムチケット事業の地域経済活性化効果について伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 君島議員のプレミアムチケット事業がもたらす地域経済への効果に関するご質問にお答えいたします。

直近のプレミアムチケット事業といたしましては、令和7年度の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、こちらを活用いたしまして令和8年2月から受付を開始し、4月に販売いたしました。販売に際しまして、1人当たりの購入上限は5万円で、プレミアム率は30%に設定してございます。

実際の波及効果といたしましては、購入分であります約1億2,900万円とプレミアム分であります約3,900万円の合計約1億6,800万円が本事業によりまして市内で流通することになりますので、市内への経済効果としては大きいものであると、このように認識をしております。

●議長 大山修二君 再質問はありますか。

君島議員。

●君島孝夫君 プレミアム率30%、総額1億6,800万円の経済効果については大きいものと見ております。一定の理解はするが、購入に当たっては手持ちの現金が必要であり、買いたくても買うことができないという声も聞きます。これらの声に対して市として対策を

講じているのか、また、現金や共通商品券の配布を検討しなかったのか、併せてお聞きします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 ただいまの君島議員の再質問にお答えいたします。

ただいま議員のご指摘がございましたとおり、プレミアムチケットの購入に当たりましては現金が必要となりますが、市といたしましては、まず年金支給日に合わせた購入期間の設定を行っております。また、購入価格を5,000円から10段階で設定するなど、市民の皆さんが購入しやすい環境をつくって参りました。

また、現金や共通商品券の配布につきましては、配布された現金等が市外で使用される可能性もございますので、地域経済の活性化のための市内事業者支援という観点からもプレミアムチケットを選択しております。

●議長 大山修二君 再質問はありますか。

君島議員。

●君島孝夫君 今、市長から答弁で、年金支給日に合わせて購入期間の設定や、購入価格を5,000円から10段階ということで販売されたと、地域経済活性化策として市内事業者の支援といった内容の答弁だったと思います。

今、夕張以外の他市では、プレミアムチケット事業というのを助け合い商品券として、一つの例として1人2万円、これは共通券1万円、それから地域券1万円、また、ほかの市では全市民に1人当たり4,000円の商品券、プラス75歳以上の高齢者と児童扶養者が生活保護者のいずれかに該当する場合プラス2,000円ということをやっている自治体もございます。

いろいろな観点から、夕張のプレミアムチケット事業は市内経済効果に大きいと感じておりますが、今後同事業がある場合、他市のプレミアムチケット事業なども参考に、より市民に寄り添った事業として検討されるのか、市長の考えを再度お伺いします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 君島議員の再質問にお答えいたします。

先ほど他自治体の実施の状況についてご説明をいただいたところでございますけれども、今回プレミアムチケットを選択した理由については先ほど述べたとおりでございますが、また今後こういった物価高騰対策について国が財政支援を行うような状況がありましたら、今回もプレミアムチケットのみということでスタートしたわけではなく、いろいろと検討した結果、やはり市内でもしっかりお金を循環させていこうという趣旨でもプレミアムチケットを採用いたしましたので、今後またそういった状況があればその際も当然検討はして参るということになると思います。

また、今回のプレミアムチケット事業を通じて市民の方々からご意見を寄せられるものがあれば、そういったものも次回にどのような形で生かせるのか、あるいは生かせないのかということも含めてしっかり検討させていただきたいと思います。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。
君島議員。

●君島孝夫君 よろしく願いいたします。
次の質問に入ります。

夕張には企業の所有する遊休地がたくさんあると思います。事業用地データベースを活用した体制づくりは進んでいるのかどうか、お聞きしておきたいと思います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 君島議員の事業用地データベースを活用した企業誘致の体制づくりに関するご質問にお答えいたします。

遊休地となっております事業者が所有されている用地におきましては、所有する事業者からの情報を収集しました事業用地データベースの活用を継続し、積極的なマッチングができる体制を構築しております。その上で、事業者からお問合せがあった際は適切な情報提供を行っているところでございます。

最終的にこちらは事業者同士の交渉となりますので、個別のやり取りについては申し上げることができませんけれども、市への問合せを踏まえて用地所有事業者に情報提供をさせていただいた例もございます。

以上です。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。
君島議員。

●君島孝夫君 今、市長の答弁で、企業からの問合せというのはあったということですね。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 君島議員の再質問にお答えいたします。

そのとおりでございます。

●議長 大山修二君 君島議員。

●君島孝夫君 それでは、企業の土地所有者から、遊休地などの事業用地活用についての前向きな話などがあったかどうか、お聞きします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 君島議員の再質問にお答えいたします。

照会がありました分については、市と企業の間の信義則の問題もございますので、この場での現段階での私どもとしての答弁はできないということで差し控えさせていただきたいと思います。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。
君島議員。

●君島孝夫君 立地が実現することになった場合に、活用できる支援体制についてはどのような制度を提供できるかお聞きしたいと思います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 君島議員の再質問にお答えいたします。

これまでも実施してきているところでございますけれども、夕張市におきましては、夕張市企業開発促進条例に基づきまして、特定の事業のために使用する設備を取得した場合などに固定資産税を減免する制度、また、新規創業でありますとか市内事業者の事業拡大に対しまして初期費用の一部を補助いたします夕張市創業等支援補助金、また、事業者の雇用確保でありますとか人材確保を目的といたしました夕張市資格取得支援事業補助金、こうしたものがございます。あわせて、市では、国でありますとか道の支援策の情報

提供、各申請のフォローなど、進出事業者へのサポートに取り組んでおります。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。
君島議員。

●君島孝夫君 分かりました。よろしくお願いいたします。

続いて、次の質問に入らせていただきます。

観光事業における市内関係者との情報共有や意見交換を行っているが、その効果と今後の取組について伺います。昨日の徳谷議員の質問とちょっと重複するところがあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 君島議員の観光事業における市内関係者との意見交換等の効果と今後の取組に関するご質問にお答えいたします。

ただいま君島議員のほうからもございましたが、昨日、同様のご質問について徳谷議員からもいただいたところでございますが、観光事業者を中心とした意見交換は、昨年の11月に第1回目を行って以降、これまでに4回実施してきているところでございます。

これまでの意見交換を通じまして、出席者からは、まず「市内で活動はしているものの、通常関わりのない事業者と交流する機会を得られ、情報交換をすることができた」というお話でありますとか、「改めて市内の資源や魅力を考えるきっかけになった」との声がありましたことから、意見交換には関係者間の連携を深めるといった効果があったものと考えております。その上で、意見交換においては、人口減少等により人的資源をはじめとする各資源が限られていく中で、その資源を最大限に生かす方法や組織、体制について考えたほうがよいのではないかとといった意見が参加者から出されたところでございます。

このような意見交換は、夏の観光シーズンの中断を経まして今年の秋頃に再開する予定と承知してございますので、さらに具体的な部分の議論を深めつつ、関係者の皆さんが一体となって活躍ができる形をつくりたいと考えております。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。
君島議員。

●君島孝夫君 今、市長のほうから、これまで4回の意見交換会では、ふだんは関わりのない事業者と交流する機会を得て情報交換が行われたと、関係者の連携を深めるといった効果があったと述べられました。今後とも、さらなる議論を深めて形あるものにしていただきたいと、要望として申し上げます。

以上で私の質問を終わります。

●議長 大山修二君 以上で君島議員の質問を終わります。

次に、櫻井議員の質問を許します。

櫻井議員。

●櫻井 暁君（登壇） 日本共産党の櫻井暁です。通告に従いまして、1件3点、質問いたします。

総合計画についてお聞きします。

夕張市は、財政再生団体終了後を見据え、新たなまちづくりの方針として約20年ぶりとなる総合計画を策定することとなっています。昨年10月のあつやトークにおいて、令和7年度は現状把握から施策検討、令和8年度は本格的に計画書の作成を行うとされ、市民のニーズを的確に捉えるための市民アンケートを実施していると説明されました。

また、令和8年度の市政執行方針では、市長は計画策定のための組織を立ち上げ、素案を基に参画いただく方々からのご意見を伺いながら、令和8年度末に最終案として議会にお諮りする、これから本市が目指すまちの姿を市民の皆様にお示しするとともに、再生振替特別債償還後の残りの財政再生計画期間を総合計画と整合性を図りながら着実にまちづくりを進められるよう、しっかりと計画策定に取り組むと述べられています。

総合計画は、まちづくりの将来像を明確化し、目指すべき姿を市民と共有するための基本方針を決める最も重要なものであると同時に、長い間、負担を強いられてきた市民にとって夢や希望を見いだせるものでなくてはならないというふうに考えます。

その上で、次の点について伺います。

1点目に、市民アンケートについて、様々な世代から

のニーズを捉えるために一般市民のほか高校生や中学生へも実施したということですが、その結果について、世代別に、どのような傾向で、どのような課題を捉えたのか伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の市民アンケートの結果に関するご質問にお答えいたします。

総合計画の策定に当たりまして、市民の皆様が日頃の暮らしの中で感じておられる幸福度や生活満足度、さらには今後の居住意向、今後、市が取り組むべき施策分野を把握する、このことを目的といたしまして令和7年度にアンケートを実施したところでございます。あわせまして、中学生、高校生の皆さんが抱いていらっしゃる思いでありますとか意識についても把握するため、学生向けに質問内容を変えてアンケート調査を実施したところでございます。

その結果、まず高齢世代につきましては、地域コミュニティに安心感を感じており、幸福度が比較的高く、施策の分野としては、雇用、働く場の確保、快適な生活環境や医療・福祉の充実を求めていることが分かりました。

次に、現役世代では子育て環境や地域の魅力向上に対するニーズが高く、特に子どもの遊び場や子育て支援施設などの整備が不十分であると感じる層ほど市外への転出意向が高い傾向が見られました。施策の分野といたしましては、移住・定住の促進、子育て支援の充実、観光振興、交流人口の拡大の推進などを求めていることが分かりました。

また、全世代を通じて、幸福度が高いほど住み続けたいとの意向が強いことから、今後の方向性として、幸福度向上に資する施策の推進が定住意向の向上につながるものと認識したところでございます。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 高齢者や現役の方々についての傾向は分かりました。

幸福度と定住の意向がつながるということでしたけれども、満足度や幸福度について、一般市民、また高

校生、中学生、それぞれの結果を伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の再質問にお答えいたします。

ただいまご質問いただきましたアンケートにおける現在の幸福度、生活満足度につきましては、それぞれの項目を10点満点として、まず市民につきましては、全体として幸福度は6点、満足度については5.5点となっており、80歳代では高い傾向がある一方で、30代においては少し低い傾向が見られました。

次に、高校生につきましては、幸福度は8点、満足度は7点であり、中学生につきましては、幸福度は7.8点、満足度は7点でありました。いずれも市民アンケートの結果よりも高校生・中学生は高い数値となっていたところでございまして、これまでの高校魅力化や教育環境の充実などの施策の成果として現れたものと考えております。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 一般市民の幸福度は半分程度ということですが、学生さんたちの幸福度や満足度が高いことに一定の評価はできるのではないかと考えます。

また、満足度に関連してなのですが、こちらのアンケートの中で再生完了後に復活や新設を願う具体的な項目があればお聞きます。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の再質問にお答えいたします。

ただいまいただいた再質問につきましては、財政再建計画を策定した際に廃止になった事業の取扱いということかと存じますが、今回のアンケート結果の中では、財政再建計画策定時に廃止になった項目について復活や新設を願うという具体的なご要望は見られませんでした。いただきましたご意見を踏まえて計画策定に当たっていく考えであります。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 今回のアンケートの中では目立った

ものはないということでしたが、私が市民の方々からお聞きした中では、まず防犯灯に対する補助を復活させてほしいというものがありました。こちらは、平成19年の夕張市財政再建計画（素案）において廃止する事務事業の事業名「防犯灯設置費及び電灯料の補助」に当たるものかと思います。最近は熊への不安も高まっておりまして、その防災という面でも整備が必要だと思っています。

あともう一つ、町内会の存続が高齢化で厳しくなっているため相談できる担当者を置いてほしいというものがありました。こちらは昔は市の方が来ていたというような話をお聞きしたのですが、例えば札幌市では委託業者がお悩みを抱えている町内会へアドバイザーを派遣する町内会アドバイザー派遣制度というものを実施しています。

あともう一つが、公衆トイレの整備というものもありました。これについては、事例としては新冠町で導入したトワイレというトイレがあるのですが、災害時には防災用トイレとして必要な場所に移動・活用が可能ということです。

また、俱知安町では、バリアフリーの建物の入り口に地域交流スペースを設けた公共トイレを設置しています。主に自治体の観光支援、バリアフリー化支援として、条件によっては交付金活用も可能ということです。

以上のことは、再建が果たされたとしてもできること、できないことがあるということを承知した上で発言させていただきますが、特に防犯や公衆衛生、コミュニティの維持については、市民が安心して過ごすために欠かせないものとして計画に盛り込んでいただきたいと思います。

そして、このアンケート結果なのですが、市民への公式な公表はまだされていないと認識しています。これから市民の皆さんへお知らせする予定があるのか伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の再質問にお答えいたします。

今回のアンケートにつきましては、計画策定の基礎資料としているものでありますことから、適切な時期において公表することを想定しております。

以上です。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 この市民アンケートは、まちづくりに向けての課題の根拠となる重要な情報です。結果についてはもっとオープンにして市民と課題を共有すべきではないかと考えますので、より早い段階での公表を求めます。

続いて、2点目の質問に移ります。

今回の総合計画策定に当たって、市民の中には「遅いのではないか」「間に合わないのではないか」という不安と、「ほとんど決まってしまうから知らされるのではないかと」という疑念を感じています。総合計画策定に遅れが生じているとの報道もされていますが、進捗状況と今後の策定スケジュールについて伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の計画策定の進捗状況と策定スケジュールに関するご質問にお答えいたします。

ただいま櫻井議員ご指摘のとおり、総合計画の策定につきましては、当初予定しておりました令和7年度末をめどに素案をまとめるとしておりました。しかし、策定に向けた庁内での議論の中で、よりよい計画とすべく計画の骨子の見直し作業を行うなどに取り組んだ結果、当初の予定よりは遅れている状況となっております。

今後は、市から提示いたします計画の骨子や素案についてご審議いただくこととなる策定委員会を複数回開催し、委員の皆様からの意見をいただきながら計画として取りまとめる作業をしっかりと進めて参ります。そして、当初の予定どおり、令和9年3月の定例市議会において総合計画の基本構想について議決をいただき、今後の夕張市の目指す姿を市民の皆様にお示ししたいと考えております。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 見直しの上で遅れが生じている状況ということですが、ゴールは決まっていますので、結果として議論の場がどんどん短くなるのではないかと、いうふうに感じます。丁寧かつ迅速な対応を求めます。

また、予定であれば先月5月から策定委員会が持たれるということを認識していましたが、その委員会の構成メンバーはどのような方々なのかお聞きします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の再質問にお答えいたします。

策定委員会の委員構成につきましては、産業、金融、教育、福祉などの関係分野に属する団体の関係者の中から委嘱する予定としております。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 構成メンバーについては分かりました。

最終的に令和9年3月の議会で議決を得ることになっていますが、計画策定の進捗に合わせて、必要に応じて市議会との意見交換などを行うお考えはあるのか伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の再質問にお答えいたします。

先ほど答弁をさせていただきましたが、総合計画の基本構想について議決を得たいと、そのように考えているわけですので、策定状況につきましては適時議会に情報提供をしつつ、必要に応じて意見交換の場を設けて参りたいと考えております。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 ぜひ意見交換をさせていただきたいと思います。

その意見交換での質問や助言については、策定委員会にお諮りしながら計画策定に反映していくお考えがあるのか伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の再質問にお答えいたします。

ただいまご質問いただきました議会からのご意見等につきましても、反映できるもの、あるいは反映できないものというものもあるかもしれませんので、市の内部で整理をしながら丁寧に対応して参りたいと考えております。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 もちろん優先順位を検討しながら、意見交換を生かしたよりよい計画策定を望みます。

そしてもう一つ、市民への説明について、そちらに関してですが、議会への提案をする前に、どの段階で市民への説明をされるのでしょうか。例えば、市民説明会やパブリックコメントなどの市民の意見を反映させるための手だてはあるのか伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の再質問にお答えいたします。

市民の皆様への説明につきましては、市民説明会といったものの開催は考えてございませんが、近々開催を予定してございます市政懇談会の中で計画の策定状況について説明をするとともに、ご意見をいただきたいと考えているところでございます。

計画策定に向けた意見の取りまとめにつきましては、時間的な制約もございしますが、市政懇談会以外にも説明機会をつくることができないかということについても検討しているところでございます。

いただきましたご意見につきましては、市の内部で整理させていただいた上で検討委員会に提示し、ご議論をいただいた中で計画としてまとめ、パブリックコメントを経て計画として最終的に取りまとめるという考えでございます。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 説明会ではなく市政懇談会の中でとのことでしたが、毎回、市政懇談会、あつやトーク、そちらの日程が近づきますと、「今度は来てくれるの

だろうか」と、特に真谷地や楓、南部地区の方々から期待の声をお聞きしています。同時に、「りすたでするのは知っているけれども、足がなくて行きづらい」というご意見もあります。そして、大半の方は「パブリックコメントって何なの」というような感覚なのですね。

20年ぶりの大事な計画策定ですから、少しでも多くの市民に関心を持ってもらい、住民が自分事として将来の夕張と一緒に考えていくためにも、ぜひ市民へ対面での説明の機会を増やしていただきたいというふうに思います。改めて日時を設けるのではなくても、集会所や会合が開かれているところ、そちらに合わせて出向いてはどうかというふうに私は考えますが、いかがでしょうか。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の再質問にお答えいたします。

市民からの意見を聞き取る市側の体制ということだというふうに思いますが、先ほど答弁を申し上げましたとおり、今考えておりますのは市政懇談会、それからそれ以外の機会、やはり各目的に応じて活動されている組織・団体ということも市内にはありますので、そういった方々も含めてご説明の機会を何とか設けられないかということ考えているところでございます。その意味では、今日いただきました意見についても今後どのように対応できるのかということについては検討させていただきたいと思います。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 分かりました。よりよい検討を求めます。

最後に、3点目をお聞きします。

今後のまちづくりについて、市民と事業者と行政が思いを共有するためには、総合計画においてもまちづくりの基本理念を分かりやすく掲げる必要があると考えますが、将来のビジョンとして市長が一番に示したい点は何が伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 櫻井議員の今後のまちづくりについての将来ビジョンに関するご質問にお答えいたします。

櫻井議員がおっしゃられますとおり、今後のまちづくりにおきましては、まちづくりの基本理念、将来の姿を共有することは重要であると考えてございます。私が将来の姿としてお示ししたい点でございますけれども、まちの規模が縮小しても、そこに住む市民の方お一人お一人が誇りと幸せを実感できる持続可能なまちにしていくことでございます。

本市には、豊かな自然や石炭産業の歴史、地域文化、そして地域を支えてきた強いコミュニティといった多くの資源がございます。これらを守り、生かしながら、人口減少や少子高齢化などの地域を取り巻く環境の変化に対応し、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを進めることが重要でございます。そのため、都市機能などについて適切な集約を図り、コンパクトな都市構造とするとともに、地域資源を生かした産業や交流を促進し地域の活力を高めつつ、市民の健康や福祉、教育の充実を通じて、暮らしの豊かさと幸福度の向上を目指していきたいと考えております。

これらのビジョンを掲げまして、夕張につきましては人口ピークが1960年ということで、石炭産業があったという事情もございますけれども過去には多くの方が暮らしていただいていたということでございます。そしてまた、現在お住まいでいらっしゃる方も、ひよっとすると今後、市外への転出というものを考えていらっしゃる方がいるかもしれない、そういったところにしっかりとメッセージをお届けする必要があると思いますので、やはり住み続けたいと思っていただける、あるいはいろいろなご事情があつて夕張を離れられた方々にも「また戻ってみたい」とか、そのように思っただけのようなまちづくりを進めるべく、しっかりと計画を策定して参ります。

●議長 大山修二君 再質問はありませんか。

櫻井議員。

●櫻井 暁君 自分も、夕張の自然や文化、またコミュニティが好きで市外から戻ってきました。進学や

就職で夕張を離れた私の子どもたちも、峠を上がってくると車の窓を開けて「ああ、山の匂いがする」というふうにも深呼吸をするのですね。このまち全体が子どもたちのよりどころになっているなどというふうに感じます。そのように、皆さん、住んでいたくてもいられなかったり、逆に出たくても出られなかったり、生活は様々だというふうに思います。ですから、市民の現状を知る努力は続けなくてはならないというふうにも、日々、私も感じているところです。

私は、全国唯一の財政再生団体から脱却する夕張だからこそ、この総合計画はきちんと市民の共通理解の上でつくられることが大切になるというふうに考えます。子育て支援から高齢者支援まで、それぞれの願いに応えるのは簡単ではないですし、相反するご意見もあろうかと思っています。それを夕張市としてどんなふうを受け止めて、どう応えていくのか、市民が分かるように説明をしていただきたいのです。そうすることで市民が自分事として課題を受け止め、協力しよう、自立しようという意識改革も進むのではないのでしょうか。

目指すまちの姿を市と市民全体でともに作り上げることができる体制づくりを求めまして、私の質問を終わります。ありがとうございました。

●議長 大山修二君 以上で、櫻井議員の質問を終わります。

以上で、通告されました質問は全て終了いたしましたので、日程第1、一般質問はこれをもって終結いたします。

●議長 大山修二君 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

本日は、これをもって散会いたします。

午後6時43分 散会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

夕張市議会 議長 大山 修 二

夕張市議会 議員 君 島 孝 夫

夕張市議会 議員 櫻 井 暁